

# I 庁舎建設に関する住民アンケート調査の概要

## 1. 調査の目的

今般実施した本市庁舎の耐震診断の結果を踏まえ、耐震性のある安全な庁舎への建て替えを計画的に進めていくため、地域住民の意向把握の一環としてアンケート調査を実施するものである。

## 2. 調査の項目

- (1) 「現庁舎の利用状況」について
- (2) 「現庁舎の使い勝手」について
- (3) 「庁舎の建て替え」について
- (4) 「庁舎建設」についての意見（自由記述）

## 3. 調査の設計

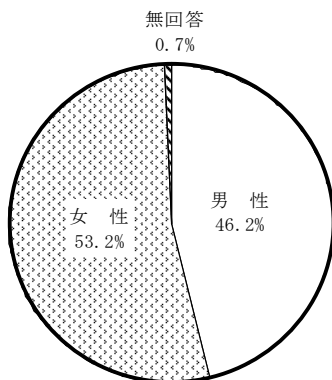
- (1) 調査地域：尾花沢市全域
- (2) 調査対象：尾花沢市在住の市民
- (3) 標本数：2,000件
- (4) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (5) 調査期間：平成25年9月30日～10月18日

## 4. 回答結果

- (1) 回答数（率）：1,061件（53.1%）
- (2) 無効数：0件
- (3) 有効数（率）：1,061件（53.1%）

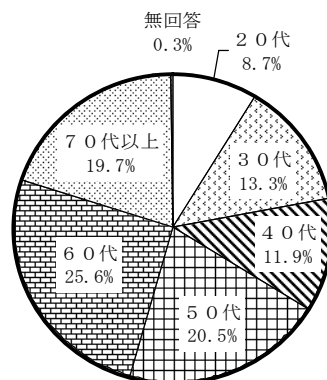
## 5. 調査対象の属性

### (1) 性別



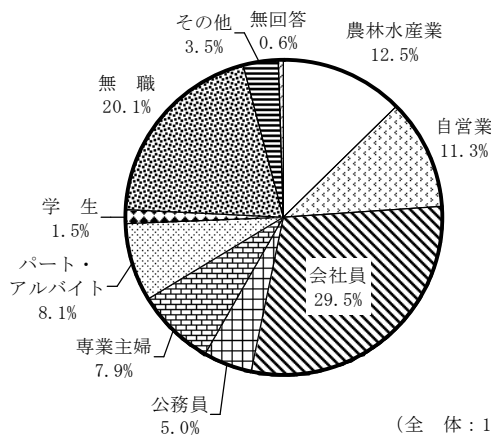
(全体：1,061)

### (2) 年齢（年代）



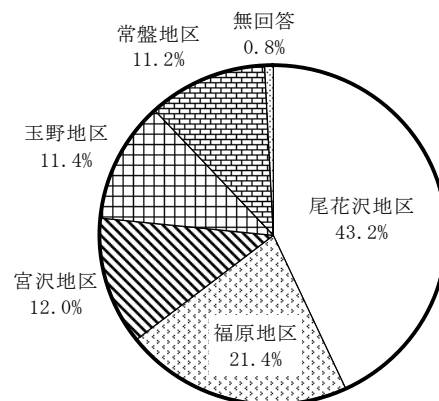
(全体：1,061)

### (3) 職業



(全体：1,061)

### (4) 居住地区

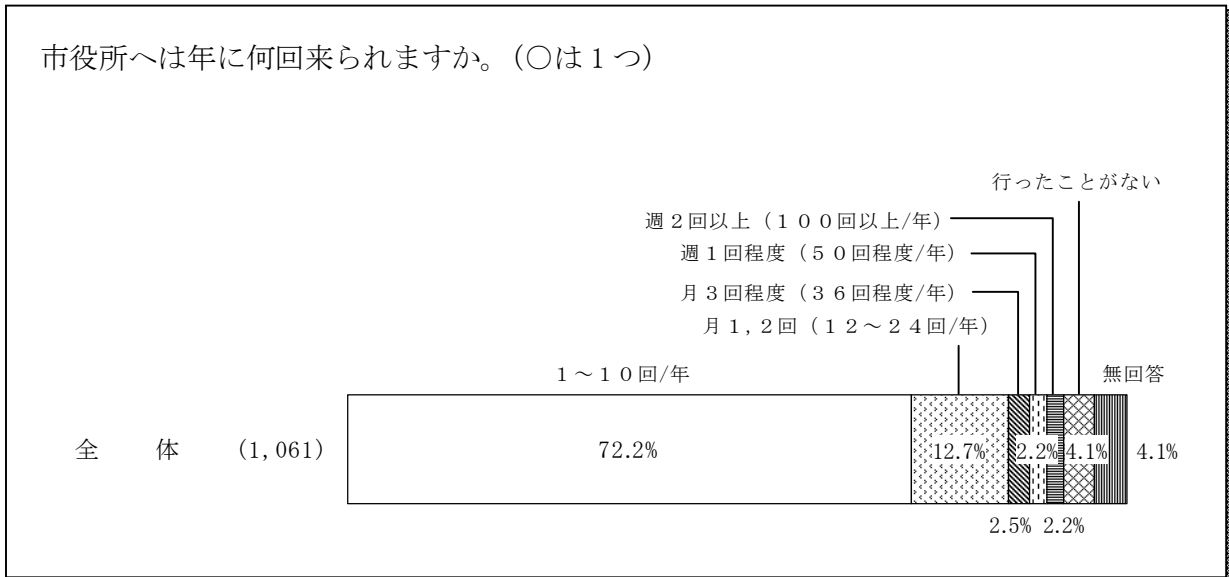


(全体：1,061)

## Ⅱ 調査結果

### 1. 「現庁舎の利用状況」について

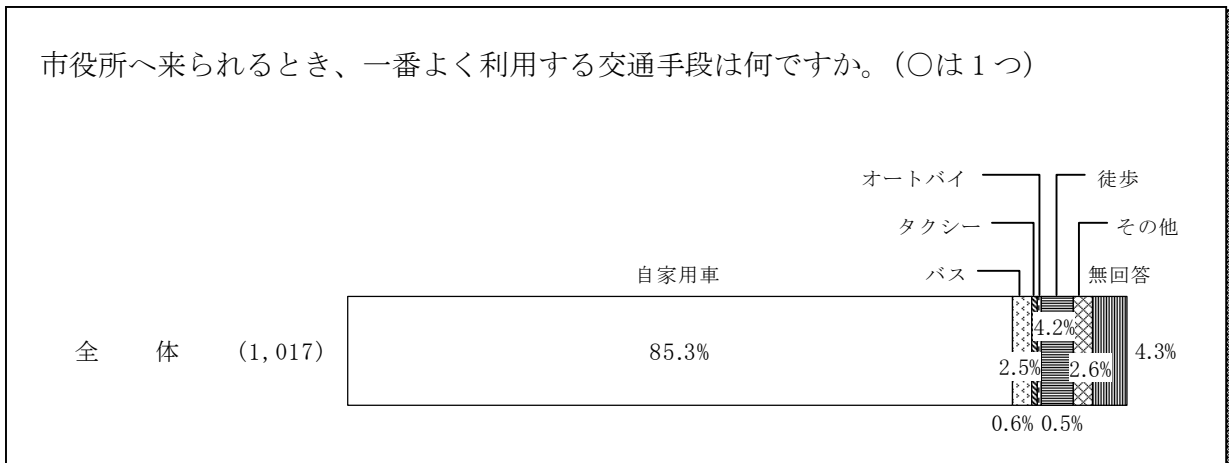
#### (1) 年間の市役所訪問回数



性別でみると、「1～10回/年」の割合は、「女性」が75.4%、「男性」が68.8%で、「女性」が6.6ポイント高い。

年齢別にみると、「1～10回/年」の割合は、「20代」が最も高く、続いて「40代」、「30代」、50代」の順になっている。一方、「月1、2回(12～24回/年)」は、年齢層が上がるほど割合が高くなっている。

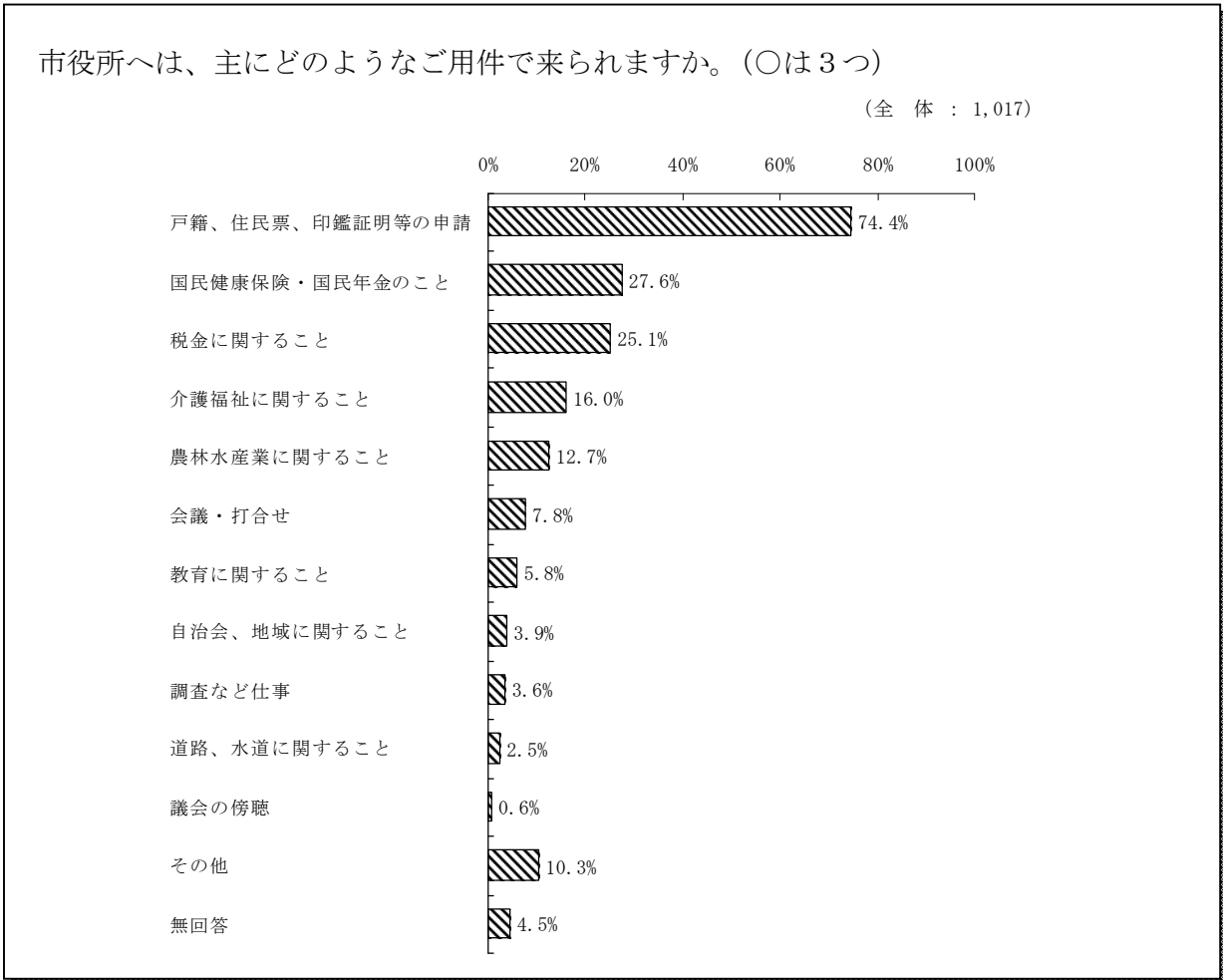
#### (2) 市役所へ行く時の交通手段



性別にみると、男女共に「自家用車」の割合が高い。「徒歩」の割合は、「女性」が6.2%、「男性」が2.1%で、4.1ポイント「女性」の割合が高い。

年齢別にみると、「自家用車」の割合は、「20代」～「60代」で8割～9割台、「70代以上」では、6割台となっている。「70代以上」では、「バス」の割合が高く約1割を占め、性別×年齢別にみると、「女性」の「70代以上」で「バス」の割合が1割を超えている。

### (3) 市役所への用件

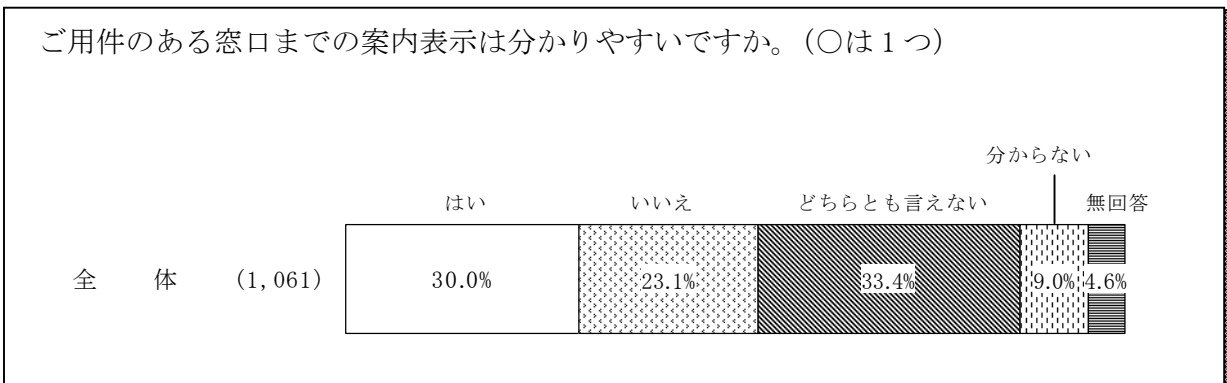


各種申請・手続き等の窓口部門での用件が上位を占めている。

また、性別でみると「農林水産業に関すること」、「会議・打合せ」では、「男性」の割合が比較的高く、「教育に関すること」では、「女性」の割合が高くなっている。

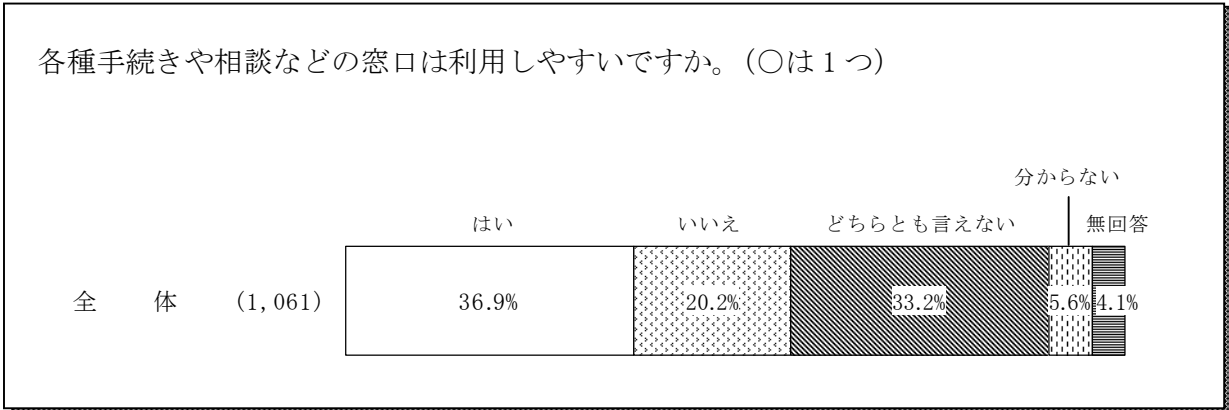
## 2. 「現庁舎の使い勝手」について

### (1) 窓口までの案内表示の分かりやすさ



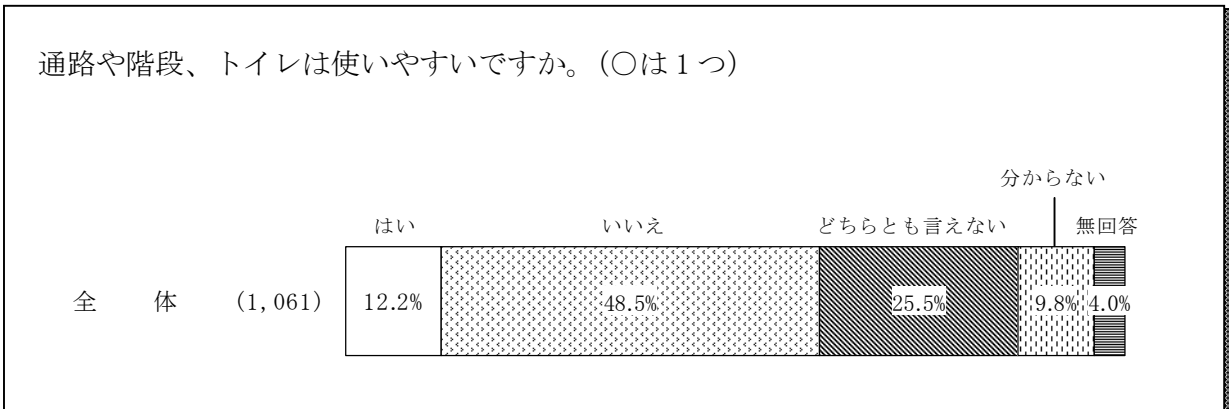
年齢別にみると、各年代で、「どちらとも言えない」の割合は3割台となっているが、「はい」(分かりやすい)の割合は、年齢層が上がるにつれ高くなっている。

(2) 各種手続きや相談などの窓口の利用のしやすさ



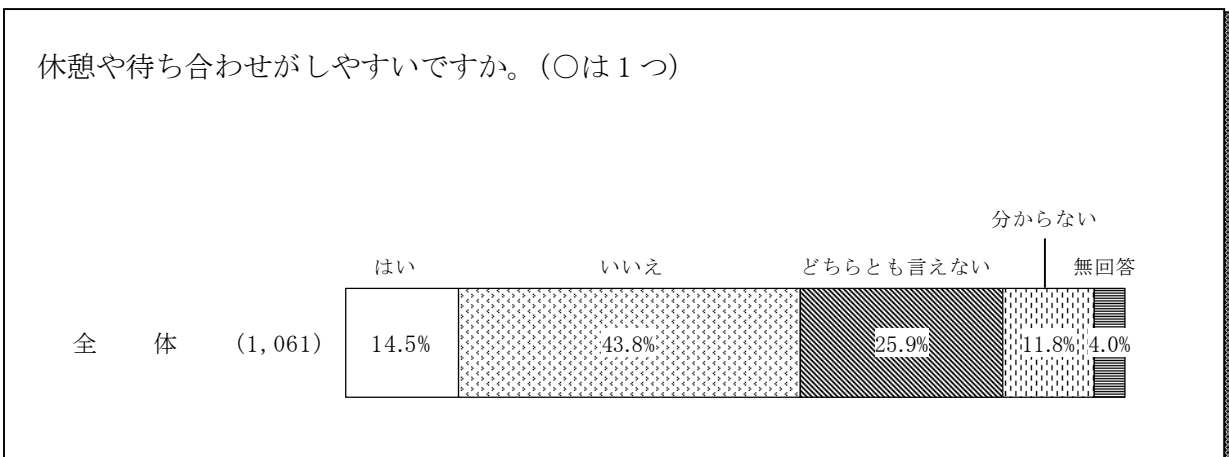
年齢別にみると、「はい」(利用しやすい)の割合は、「50代以上」で高く、約4割となっている。

(3) 通路や階段、トイレの使いやすさ



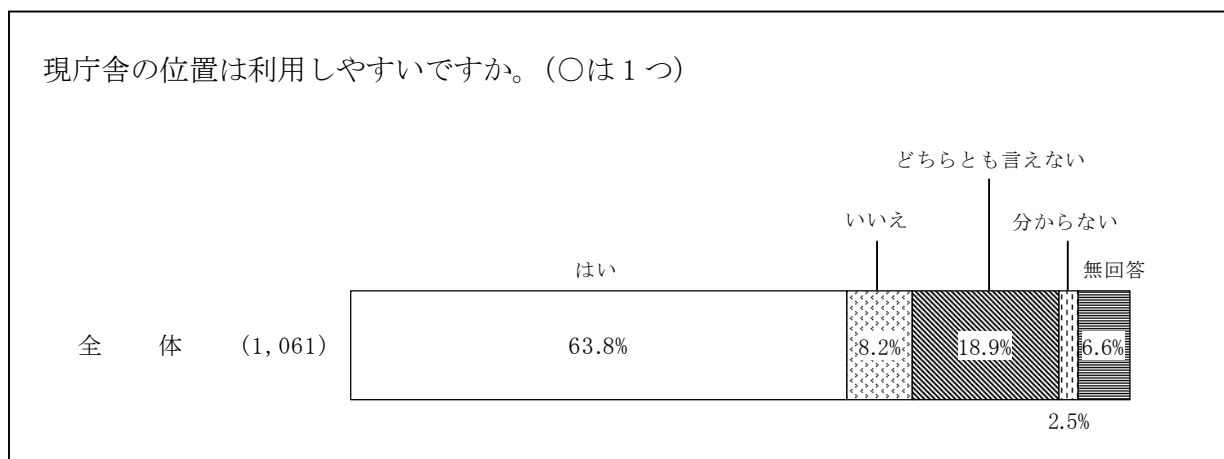
年齢別にみると、「いいえ」(使いにくい)の割合が60代まで4割～5割台、「70代以上」でも37.8%となっており、全年齢層で「いいえ」(使いにくい)の割合が高くなっている。

(4) 休憩や待ち合わせのしやすさ



年齢別にみると、「いいえ」(使いにくい)の割合が60代まで4割～5割台、「70代以上」は2割台となっている。年齢層が下がるにつれ「いいえ」(使いにくい)の割合が高くなっている。

### (5) 現庁舎の位置の利用のしやすさ



年齢別にみると、「はい」(利用しやすい)の割合は、「20代」、「40代」で7割台、「30代」、「50代」、「60代」で6割台、「70代以上」でも5割を超えている。

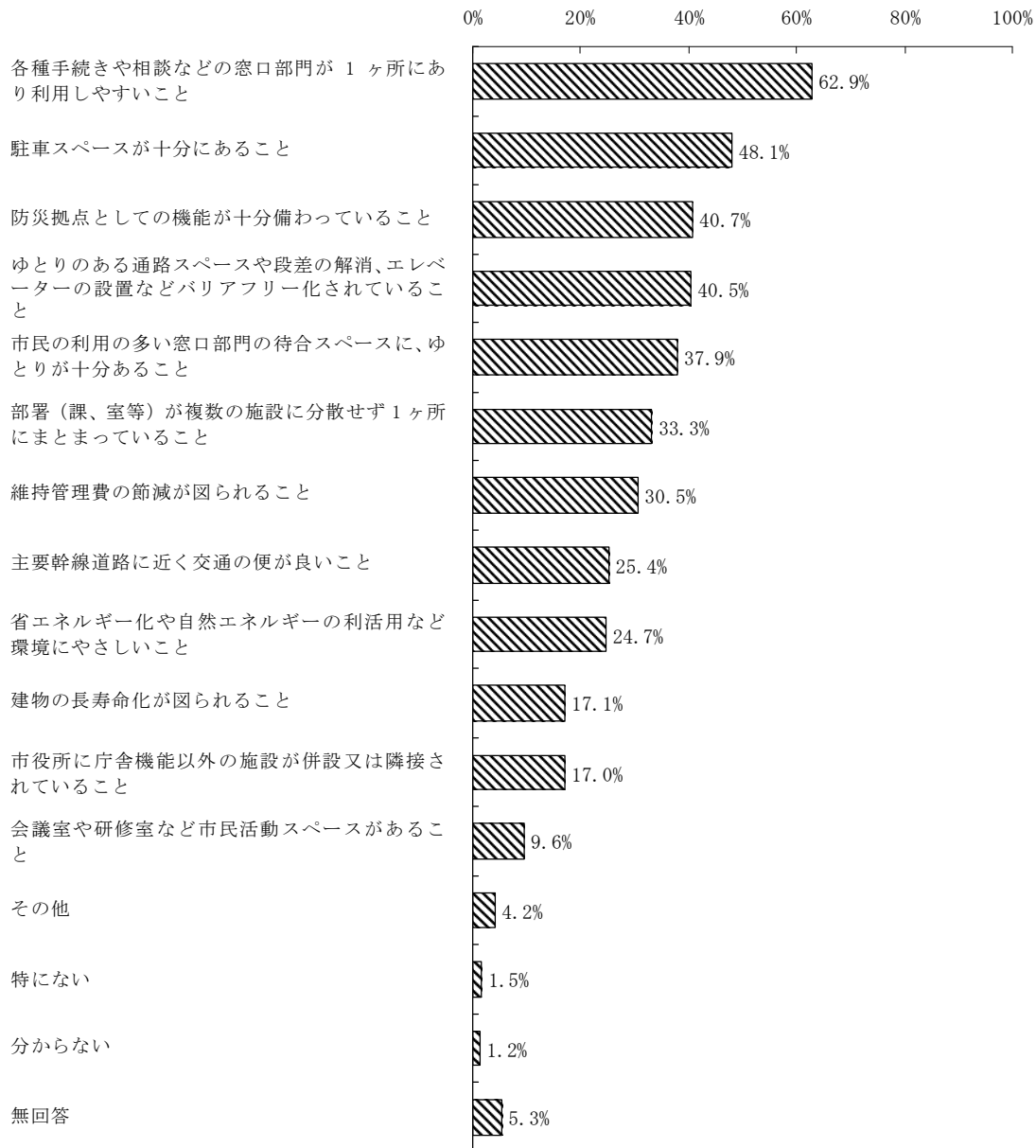
居住地区別にみると、全地区で「はい」(利用しやすい)の割合が5割を超えており、「いいえ」(利用しにくい)の割合は、約1割となっている。

### 3. 「庁舎の建て替え」について

#### (1) 建て替える場合の重要機能

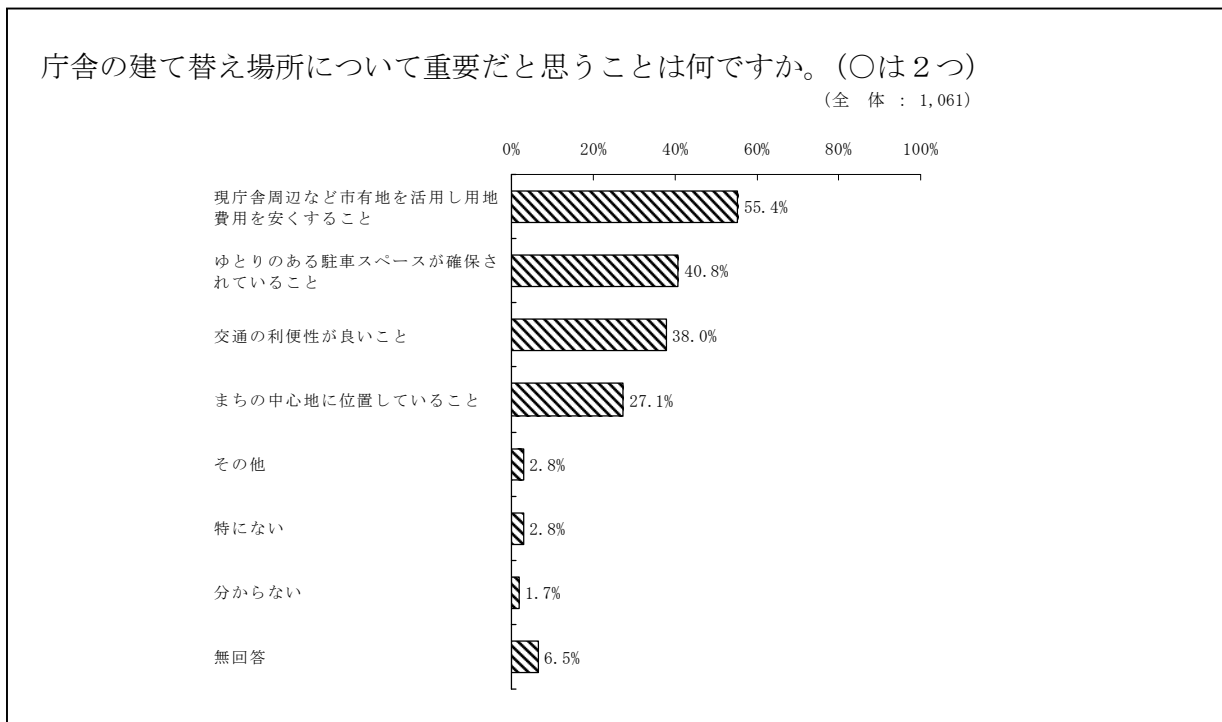
建て替える場合、重要だと思う機能は何ですか。(○は5つまで)

(全体 : 1,061)



年齢別にみると、「各種手続きや相談などの窓口部門が1ヶ所にあり利用しやすいこと」の割合は、「40代」～「60代」で高く6割を超えている。「防災拠点としての機能が十分備わっていること」では「20代」が最も高く、年齢層が高くなるにつれ割合が低くなっている。「ゆとりのある通路スペースや段差の解消、エレベーターの設置などバリアフリー化されていること」の割合は、「20代」が他の年代と比べ高くなっている。

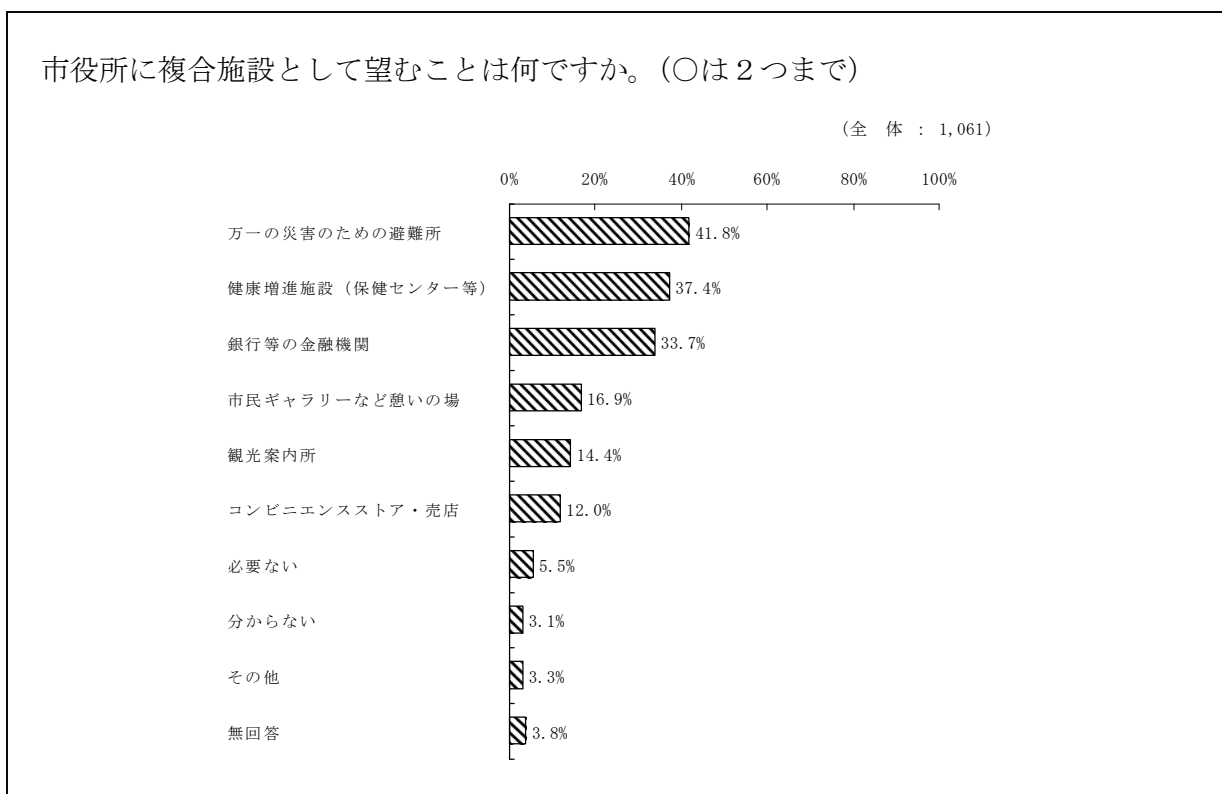
## (2) 庁舎建て替え場所の重要点



性別にみると、「現庁舎周辺など市有地を活用し用地費用を安くすること」、「ゆとりのある駐車スペースが確保されていること」では、「女性」より「男性」の割合が高く、「交通の利便性が良いこと」、「まちの中心地に位置していること」では、「男性」より「女性」の割合が高い。

年齢別にみると、「現庁舎周辺など市有地を活用し用地費用を安くすること」では、全世代で5割を超えている。「ゆとりのある駐車スペースが確保されていること」では、「30代」～「60代」で4割を超えている。「交通の利便性が良いこと」の割合は、「70代以上」が最も高くなっている。

## (3) 市役所に複合施設として望むこと



年齢別にみると、「万一の災害のための避難所」では、「30代」を除く全世代で4割を超えている。「健康増進施設（保健センター等）」では、年齢層が上がるにつれ割合が高く、「60代以上」で4割を超えている。「銀行等の金融機関」では、「30代」の割合が最も高くなっている。

#### 4. 「庁舎建設」についてのご意見

庁舎建設について、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

大分類	中分類	小分類	件数	比率(%)
I 庁舎建設に関する事	1. 建替えが必要		369	88.07
		(1) 早期着手(老朽化に対する不安)	45	
		(2) 地元経済へ波及効果のある建設	7	
		(3) 庁舎機能に関する事	317	
		① 耐震化・防災対策	24	
		② 行政サービスの効率化	56	
		相談機能(プライバシーの確保)	8	
		窓口機能(ワンストップ化、窓口時間の延長等)	27	
		執務機能等(業務効率の向上)	21	
		③ 利便性の向上	75	
		利用しやすい動線(使いやすさ)	29	
		分かりやすい案内表示	6	
		バリアフリー化(段差解消、エレベーター設置等)	22	
		市民交流スペースに関する事	18	
		④ 環境配慮・雪対策	34	
		自然エネルギーの活用	10	
		省エネルギー化(エコ庁舎)	5	
		雪対策(克雷・利雪)	18	
		木材利用	1	
		⑤ 身の丈に合ったコンパクト化	77	
		⑥ シンボルに関する事	8	
		⑦ デザインに関する事	6	
		⑧ 駐車場・場所に関する事	22	
		⑨ 複合施設の併設に関する事	12	
		⑩ その他機能に関する事	3	
			2. 既存施設の活用	
	① 現状維持(現庁舎の利用継続)		7	
	② 現庁舎の改修		3	
	③ 空き公共施設等の活用		8	
	3. 建替え不要		16	3.82
	4. その他庁舎建設に関する事(建設費用、検討体制等)		16	3.82
	小 計		419	100.00
II 職員に関する事	(1) 職員の質の向上		29	
	(2) 職員数の削減		7	
	小 計		36	
III その他	(1) 現庁舎に関する事		11	
	(2) その他		10	
	小 計		21	
	計		476	

庁舎建設について意見を求めたところ、476件寄せられた。「庁舎建設に関する事」が419件、「職員に関する事」が36件、「その他」が21件となっている。